

教区通信 ふくおか

2021(令和3)年7月1日発行

Vol.134

発行

「御同朋の社会をめざす運動」
福岡教区委員会

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）スローガン

結ぶ絆から、広がるご縁へ

-From tying bonds to great encounters-



▲戦後76年戦争犠牲者追悼法要－非戦・平和を願うつどい－（6月18日 記載の文章は閉会式にて読みあげたものです）

戦後76年戦争犠牲者追悼法要－非戦・平和を願うつどい－…P2～P3

追悼法要記念公演 二階堂和美さん…P2
追悼法要記念講演 尾畠文正さん…P3
森達也さん
「世界はもっと豊かだし
人はもっと優しい」…P4～P5

教区・組 重点プロジェクト一覧…P6
重点プロジェクト研修会…P7
法話「迷うなあ」…P7
行事予定・編集後記…P8

この度の戦争犠牲者追悼法要では、二階堂和美さんより「非戦・平和」をテーマにした歌と、これからも戦争のない平和な社会をめざして歩みたいという思いを語っていただきました。

後日、浄土真宗を大切にされている歌手として、改めて非戦・平和に向けてのメッセージを頂戴しました。

戦後76年戦争犠牲者追悼法要 ～非戦・平和を願うつどい～

安芸教区佐伯西組大龍寺坊守 ミュージシャン 二階堂 和美

わたしが歌の合間のお話の中で出した「お花畠」という言葉について、最後のトークセッションで尾畠先生が触れてくださいました。「戦争は嫌だ、平和に生きたい、そんなことを言うと『頭の中がお花畠だ』と言われることがあるが、今必要なのはお花畠だ、そういう純真な心を見失っているのが現在である」と。

法然聖人のお父上が臨終の間際におつしやられた「恨みをはらす

のに恨みをもつてすれば、人の世に恨みのなくなることはない。恨みを超えた広い心をもつて、すべての人が救われる仏の道を求めよ

との言葉。すべての人々が、この思いを根本に据えて生きていくならば、この世から戦争をなくすことは可能だと、まさに「頭の中がお花畠」ですが、私は思っています。

世界各國で宗教は様々、求める道は仏法に限られたことではありませんが、多様性を認め合うことこそが、平和への道だと思います。

純真な心を持ち続けることは、現実の世ではなかなかに困難ですが、芸術や宗教は、それらを取り戻す大きな手掛かり、足掛かりとなると思っています。

純真な心はシンプルな心。きっと道がひらけてくると信じて。

「戦後76年戦争犠牲者追悼法要～非戦・平和を願うつどい～」の模様については YouTube 「浄土真宗本願寺派福岡教区・本願寺福岡教会」チャンネルにて公開中です。どうぞご視聴ください。



▲尾畠文正さん



▲二階堂和美さん



▲トークセッション



▲法要

戦死者の声なき声に聞く

同朋大学名誉教授・真宗大谷派僧侶 尾畠 文正

同朋大学を退職後にブラジルで開教の仕事を三年半勤めて、現在は三重県に住んでいます。私は寺院出身ではありませんが、ご縁をいただいて親鸞聖人の浄土真宗に学びました。浄土真宗とは浄土を真実の宗（根本・根拠）とする仏教の名のりです。煩悩いっぱいの私が人間として生きる根拠と方向を浄土（阿弥陀仏の本願の國土）として明らかにしている仏教の宣言です。注意すべきはその仏教は五濁悪世という人間の現実問題を抜きにして明らかにされたのではないということです。

私がいう現実問題は何も難しいことではありません。生まれて死んでいくまでの生活全ての問題です。働くこと、勉強すること、食べるのこと、住むこと、政治すること、経済することです。そういう日常生活の只中に、念佛のはたらき、つまり全ての人間を救いたいという本願の心をいただいて生きることです。いわば現実の只中に仏さまの声を聞くことです。浄土真宗はこれに尽きると思います。

今日の「戦争犠牲者追悼法要」でいえば、「戦争」は政治の誤りです。その戦争に翻弄され、大切な人を失った歴史は忘れてはならない現実問題です。特に現代のように国の政治が戦争を準備するような時代にあつては、今こそ現実問題を通して、戦死者の声なき声に人間の闇を聞くことです。

その他 YouTube掲載動画のご案内

時局問題対策協議会 第1回公開講座
前号（133号）掲載の高石伸人さんの講演です。



以下QRコードよりご覧いただけます。
福岡教区ホームページにもリンクを掲載しています。
どうぞご視聴、チャンネルご登録ください。



阿弥陀仏の本願の第一願は「地獄・餓鬼・畜生のない国を作りたい」です。それは地獄（戦争）を作り出す人間の現実に対し誓われた願いです。だからこそ私たちが念佛もうして本願をいただくとは、具体的には、戦争に命奪われた人々の声を阿弥陀仏の本願に聞くことです。言い換えれば、地獄（戦争）・餓鬼（差別）・畜生（隸従）のない国を生きたかった戦死者の声を、地獄・餓鬼・畜生のない国を作りたいという阿弥陀仏の本願に聞くことです。

本願の念佛をいただく親鸞聖人は「世の中安穏なれ、仏法ひろまれ」（御消息集）と願つて生きることを表されています。私たちも「非戦・平和のつどい」を縁にして、ともに本願の念佛をいただきて戦死者の真実の声に目を覚まして非戦平和の道を歩んでいきたいものです。

現在流行している新型コロナウイルス感染症について連日各メディアに取りあげられています。様々な情報が飛び交う中で、何が本当のかわからなくなることがあります。そもそも情報とは何か、どのように向きあうべきなのか。この度は森達也さんにご寄稿いただきました。

世界はもつと豊かだし 人はもつと優しい

森 達也（映画監督、作家、明治大学特任教授）

あなたはテレビで動物ドキュメンタリーを見ている。例えばNHKの「ダーウィンが来た！」。今回とりあげる動物は、サバンナに暮らす母ライオンだ。最近子供が三頭生まれた。でもこの年のアフリカは乾季が長く続き、草が生えないでのライオンの獲物になる草食獣が少ない。母ライオンは飢えに苦しんでいた。乳も出ないから、生まれたばかりの三頭の仔ライオンも痩せ細つて衰弱している。その日、母ライオンは久しぶりに獲物を見つけた。二匹のインパラだ。大きさが違うから親子かもしれない。弱った自分の足では親のインパラを仕留めることは無理かもしれないけれど、子供のインパラなら追いつくはずだ。母ライオンは風下から少しづつインパラ

に近づく。この狩りに失敗したら、仔ライオンたちは明日までには衰弱して死ぬだろう。

このときテレビを見ているあなたは、頑張れと母ライオンに声援を送るはずだ。狩りに成功して仔ライオンの命を救ってくれ、と願うはずだ。

翌週の「ダーウィンが来た！」はインパラの特集だった。この年のサバンナは乾季が長く続いたので草が少ない。生まれたばかりの仔インパラと母インパラは、少ない草を求めてサバンナをさまよい続け、ようやく少しばかりの草地を見つけた。母と仔は必死に草を食む。でもロングにズームしたカメラが、遠くに隠れている凶暴そな雌ライオンを捉えた。食べることに夢中の母と仔のインパラは気づかない。

このときあなたは、早く気づいてくれと願うはずだ。凶暴なライオンが近づいている。早く気づけ。逃げろ。逃げて生き延びろ。これが視点だ。どちらも嘘ではない。撮影は同じ時に同じ場所で行われた。違いはカメラを置く位置。それが違うだけで、世界は猫の目のように変わる。それが情報の本質。

つまり、「たつた一つの真実」など存在しない。人が百人いれば百とおりの真実がある。もちろん単純な真実はある。昨日の東京の最高気温。砲丸投げの世界記録。あなたの身長。それらは数値だから単純化できる。でも世界は数値化できない。あらゆる要素がある。あらゆる要素がグラデーションでつながっている。

新聞にテレビ、雑誌やSNS、日々あなたはいろんな情報に接する。ミャンマーの状況はどう変わるのか。米中関係はどうなるのか。そしてコロナについて、我々はどのように対峙すべきなのか。

残念だけど情報に正解はない。客観的な真実もない。でも主観的な真実はある。それはディレクターやカメラマンや記者やライターの視点であり真実。人によって違う。それを前提にしながら情報に接すること。これがメディア・リテラシーの本質だ。コロナについても同様。メディアの時代になつてから初めての世界的なパンデミックなのだ。いろんな視点があつて当たり前。大切なことは、絶対に真実はひとつなどと思いつ込まないこと。

僕はそもそもテレビ・ディレクターだった。でもオウム真理教による地下鉄サリン事件が起きた一九九五年、オウムの信者を被写体とするドキュメンタリーを撮影していた僕は、その作品ごとテレビから排除されて、仕方なく映画にした。

そのタイトルは『A』と『A2』。今も上映会などで時おり、

「やつとオウムについての真実を知ることができました」と言われることがある。嬉しい。できることならハグしたい。でも言わねばならない。この映画は僕の視点です。もしもあなたが同じ時期にオウム施設に潜入してカメラを回していくとしたら、まったく違う作品になつているはずです。

事実はない。あるのは解釈だけだ。

これはニーチェが残した箴言。長々とここまで書いたけれど、これに加えることは実のところ何もない。メディアは情報を四捨五入する。ラインを無理に引く。でも実際の世界は多面で多層で多重的。空は青で樹は緑。これは情報。でも実際にはいろんな色が混在している。どこから見るかでまたたく間で変わる。

だからこそ世界は豊かで美しいのだ。

森 達也（もり たつや）監督プロフィール



映画監督・作家・明治大学特任教授
広島県呉市生まれ。
オウム真理教信者を取材したドキュメンタリー『A』が98年に劇場公開され、ベルリン国際映画祭など多数の海外映画祭でも上映され世界的に大きな話題となった。

主な映像作品

『放送禁止歌』（99年）、『A2』（01年、山形国際ドキュメンタリー映画祭特別賞・市民賞）、『311』（11年、綿井健陽、松林要樹、安岡卓治と共同監督）、『Fake』（16年）、『i～新聞記者ドキュメント』（19年）

主な著作

「放送禁止歌」（光文社／智恵の森文庫）、「下山事件（シモヤマ・ケース）」（新潮社）、「僕のお父さんは東電社員です」（現代書館）、「オカルト」「クォン・デ」（角川書店）、「A3」（集英社インターナショナル）、「死刑のある国ニッポン」（河出文庫）、長編小説作品「チャンキ」（新潮社）、「すべての戦争は自衛から始まる」（講談社文庫）、「U相模原に現れた世界の憂鬱な断面」（講談社現代新書）

福岡教区 重点プロジェクト

スローガン

結ぶ絆から、広がるご縁へ

重点プロジェクト 推進計画	実践目標	ひんこん こくふく む ターナ フォー ワールド ピース <貧困の克服に向けて ~Dāna for World Peace~ > こ はぐく - 子どもたちを育むために -
	期 間	2020（令和2）年度～2023（令和5）年度
	達成目標	①各組・各寺の貧困問題への取り組みに対して継続可能な支援体制を確立する ②貧困問題への取り組みを始めとする社会貢献について、教学的意義を明らかにする。
	令和二年度	○過去2年間の貧困問題への取り組みについてアンケートなどを実施しそこから明らかとなる課題を明確にする。 ○教区内の各組・各寺が行っている貧困問題への取り組みを調査する。 ○実践運動への教学的な見地からの視点を整理する。
	令和三年度	○貧困問題への取り組みで明らかとなった課題を解消していくために研修会を実施する。 ○各組・各寺が求める教区の支援の在り方を情報交換会などを通して明確にする。 ○実践運動への教学的な見地からの視点を整理する。
	令和四年度	○教区の支援体制を立ち上げ、制度的に運用していく。 ○実践運動に取り組む意義を教学的見地から研修会などを通して周知する。
	令和五年度	○教区の支援体制の問題点を明らかにし、支援を継続できるよう改善する。 ○実践運動に取り組む意義を教学的見地から研修会などを通して周知する。

													組名	達成目標			
西嘉穂組	那珂組	柏屋組	鞍手組	下川東組	八女組	柳川組	三門北組	三門南組	遠賀組	東筑組	御笠組	夜須組	宗像組	志摩組	怡土組	早良組	福岡組
平和と平等のサンガをめざして～3・11を忘れない～	災害支援・東日本大震災をはじめとする被災者支援 葬送儀礼 「御同朋の社会」実現への取り組み	③②①貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～一子どもたちを育むために一 ③②①災害支援 貧困の克服に向けて	③②①貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～一子どもたちを育むために一 ③②①災害支援 貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～一子どもたちを育むために一 ②①子どもの貧困 ②①災害募金について	②①貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～一子どもたちを育むために一 ②①日常の寺院活動～田の前の困った人を見捨てないから～	③②①高齢社会 災害支援 貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～一子どもたちを育むために一 ②①「御同朋の社会の実現」一共なるあゆみ一	②①貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～一子どもたちを育むために一 ②①日常の寺院活動の充実：門徒・僧侶・寺院は常に親鸞聖人の生き方に学び人と人とのつながりを深め、お寺を中心としたご縁社会を少しでも復活させる ②①貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～一子どもたちを育むために一 ②①「御同朋の社会の実現」一共なるあゆみ一	②①何を、誰に、どのように伝えるかを考え企画・実行する。										

福岡教区「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）

重点プロジェクト研修会

中央委員・寺院機能推進部長 渡邊 慶海（西嘉穂組 西蓮寺）

二〇二一（令和三）年五月二十五日、福岡教区御同朋の社会をめざす運動（実践運動）重点プロジェクト研修会が開催されました。今回は「貧困の克服に向けて -Dāna for World Peace- ～子どもたちを育むために～」をテーマに、「み教えと実践運動」をサブテーマに、総合研究所の岡崎秀麿さんを講師にお迎えしてのリモート研修となりました。

今回は特に、以前から寄せられていた「実践運動の教学的な根拠は」といった疑問や、基幹運動と実践運動のつながり（関連性）について、つまり、私達が取り組む運動の足元を再確認するテーマとしました。

まず、戦後に「同朋運動」「門信徒会運動」として動き出した宗門の運動が「基幹運動」に一本化され、「実践運動」へと展開していく大筋の流れの説明がありました。そして、これらの運動が、現場の問題から教団全体の活動へと広まつた取り組みであり、現場の問題から私と教団の体質が問われ続けているという点を再確認しました。

そして、現在の実践運動は「聖典上にこういう根拠があるから実践をする（しなくてはならない）」というよりは、社会や現場の問題・苦悩に対してどのように向き合っているか、そこが問われている・問い合わせ続ける営みが運動の本質であり「実践」ではないか、という提起がなされました。

明確な教学的根拠の「答え」までには至りませんでしたが、私自身と教団の姿・体質、そして信心や教学について「問い合わせ」続けていく姿そのものが運動の根底にあることを改めて確認する学びでした。

法
一
話
言

「迷うなあ」

夜須組 専念寺 泉谷 篤士

私は、もうすぐ三歳になる息子がおります。その子が先日、どのアイスクリームを食べるのか迷つておりました。イチゴのアイスにするか、バニラアイスにするかを考えております。「イチゴはピンクの色をしていて甘くておいしい。バニラは白色で美味しい。」それぞれのアイスクリームを分析しながら、どちらを食べるか迷っています。私はその姿を見ながら微笑ましく思うと同時に、成長しているのだなと喜んでおりました。

仏教では迷いや苦しみの原因は煩惱であると說きます。煩惱とは身心を悩まし煩わせる心のはたらきです。一般に仏道は、その煩惱を断ち切つていこうと說きます。しかし私には迷いや苦しみを断ち切ることができません。たとえ一つ解決しても、次から次へと湧き上がつていきます。そして迷いや苦しみがあるからこそ、私を成長させてくれたりもします。迷うことによってそれまで気が付かなかつたことに気づいたり、苦しむことによつて人の苦しみに共感したりと、煩惱とは不思議なものです。正信偈を読みますと「不斷煩惱得涅槃」とあります。阿弥陀様はあなたの煩惱を自分自身で断ち切つてきなさいよとは仰いません。南無阿弥陀仏の他力の信心一つで救われるのです。迷い苦しむ私をそのままの姿で救うぞと、煩惱いっぱいの私と知らせてそのまま救つてくださるのです。迷つたり苦しんだり、喜んだり悲しんだり、いろいろなことを経験しながら生きている、私の生きざまをそのまま認めてくださいます。

福岡教区教務所の予定表

月	日	曜	時	内 容
7月	1	木	13:30	勤式研修会（WEB）
	2	金	10:30	仏教婦人会連盟若婦人部 代表者会
			15:00	本派矯正教化連盟福岡矯正管区支部連絡協議会
	6	火	14:00	実践運動 同朋運動部会（WEB）
	7	水	10:00	仏教婦人会連盟 支部長会
			14:00	ビハーラ福岡 例会（WEB）
	8	木	13:30	実践運動 中央委員会（WEB）／14:00 第5連区布教団協議会（WEB）
	12	月	10:00	ビハーラ福岡 役員会（WEB）／16:00 本派矯正教化連盟福岡教区支部 総会
	13	火	14:00	ビハーラ・ライン・福岡 例会
	14	水	13:30	親鸞聖人鑽仰講座（～15日迄）／15:30 講社連盟 総会
	18	日		九州地区スカウト指導者会 総会（WEB）
	19	月	12:00	社会福祉推進協議会 街頭募金／13:00 門徒推進員連絡協議会 役員会
	21	水	14:00	臨時教区会
	22	木		中央仏教学院通信教育部スクーリング（～23日迄）
	26	月	10:30	ビハーラ遺族語らいの会（グリーフケア）
8月	4	水	10:30	寺族婦人会連盟 ブロック長会
	6	金	12:00	閉堂
	7	土		夏季休業（～16日迄）
	19	木	14:00	ビハーラ・ライン・福岡 例会
	20	金	14:00	護持口数調整委員会
	24	火		九州地区組長研修会／14:00 実践運動 常任委員会
	25	水	14:00	ビハーラ福岡 例会
	26	木	14:00	親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讚法要委員会
	27	金	14:00	寺族婦人会連盟 幹事会
	29	日		門徒推進員連絡協議会 全員研修会
	31	火		布教大会（三門南組光圓寺）
9月	2	木	13:00	声明と雅楽の会研修会（～3日迄）
	3	金	15:00	全国保護司研修会（WEB）
	6	月	14:00	組長会
	7	火		社会福祉推進協議会 役員会
	8	水		得度講習会（～9日迄）
	10	金	13:30	得度考查
	13	月	13:30	公聴会
	14	火	12:55	親鸞聖人鑽仰講座（～15日迄）
	18	土	14:00	千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要（東京・WEB）
	28	火	14:00	ビハーラ・ライン・福岡 例会
10月	29	水		ビハーラ福岡 例会
	5	火		会計検査（～6日迄）
	7	木	12:00	第12回福岡矯正管区支部会員研修会（佐賀、～8日迄）
	8	金	14:00	社会福祉推進協議会 街頭募金
	12	火	13:30	実践運動 常任委員会
	14	木		親鸞聖人鑽仰講座（～15日迄）
	18	月		坊守研修会
	19	火	14:00	若坊守研修会
	20	水		ビハーラ福岡 例会
	23	土	14:00	全国真宗青年のつどい（京都）（WEB）

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、予定は予告なしに変更する場合がございます。

時間が記入されていない部分は未定です。

各行事開催の最新の状況については、主催者へお問い合わせください。

ご来堂の折は必ずマスクをご持参・ご着用ください。

各種行事に際しましては体温測定も実施いたします。

地域で小学生の登校時に見守り活動をしている。4月初め、「おはようございます」とあいさつすると、半数くらいの児童が「おはようございます」と返してくれた。そして、3ヵ月が経った今ではほとんどの児童が元気にあいさつしてくれる。私は朝の見守り活動で、児童たちからたくさん元気をもらっている。皆さんも見守り活動をしてみませんか。

発行責任者

浄土真宗本願寺派 福岡教区教務所長 野村 宗雄
〒810-0055 福岡市中央区黒門3-2
電話:092(771)9081